



—東北生産性本部—

第40回仙台シンポジウム12月例会開催

テーマ

「2018年世界の潮流を読む」



■ 12月例会（平成29年12月11日開催）

講師 一般財団法人 日本総合研究所 会長 寺島 実郎 氏

プロフィール

早稲田大学大学院政治学研究科修士課程修了。

三井物産(株)入社後、三井物産戦略研究所所長等を歴任。

現在は多摩大学学長、三井物産戦略研究所会長、一般社団法人寺島文庫代表理事に就任。

テレビコメンテーターとしても多数出演。著書「ユニオンジャックの矢」「シルバーデモクラシー」等多数。

第40回仙台シンポジウム12月例会は、一般財団法人日本総合研究所会長 寺島 実郎 氏を迎え、約50名の参加を得て開催いたしました。

講演では、

- ①世界経済の見通しは、世界全体の成長率は堅調な伸びを示しているが、低成長の日本はアジア新興国の中国・インド・フィリピン・タイ・ベトナムなどの高い成長率に引っ張られて、持ち堪えている。
- ②日本の対アジア貿易は高い伸びを示しており、この先、日本を除くアジアの高成長が続けば、10数年後の対アジア貿易は日本貿易全体の60%を超えているであろうと推測できる。日本はそういう時代を走っ

ていることをしっかり視界に入れておくべきである。

- ③国内においては、首都圏三環状（中央環状線・外環状・圏央道）が完成しつつある。9年後に中央リニアが繋がって圏央道とリンクする。人の流れや物の流れ、取り巻く外圏がどう変わっていくか。東北にとっても視野に入れておくことが大切である。
- ④今後、日本の人口は減っていく。これまでの人口が増えるサイクルと並走したビジネスモデルを人口が減ることに切替えることは大変至難であり、その内容は徹底的に異なる。人口の多くが65歳以上によって占められる状況は、経営学的・政治学的・社会的に言っても、深く理解しておくことが重要である。
- ⑤日本は高齢化が進むことから、高齢者の能力を発揮させていくことに、力を入れていかなければならない。ジェロントロジー（高齢者を生かす社会システム）の学問領域が、まだ日本にはない。日本にとって重い問題である。来年のキーワードは「ジェロントロジー」である。

と話されました。世界経済の中の日本の位置、日本の人口減少・高齢化による本当の問題について、分かり易くお話しいただき、大変有意義な講演会となりました。